目次

ユーザインターフェース AutoCAD の起動	2 2
AutoCAD の起動ユーザインターフェースアプリケーションメニュー クイックアクセスツールバー	2
ユーザインターフェース アプリケーションメニュー クイックアクセスツールバー	3
アプリケーションメニュー クイックアクセスツールバー	
クイックアクセスツールバー	4
	6
リボン	9
コマンドウィンドウ	11
ステータスバー	12
パレット	13
モデル空間とレイアウト空間	14
クイックビュー	15
ファイル操作	17
新規図面を開く	17
既存の図面を開く	18
図面に名前を付けて保存する	19
図面を上書き保存する	20
(二)	21
画面コントロール	22
コロージャンション	22
マウスホイールの操作	23
カーソルの種類	
画面表示のコントロール	25
当出我小\$\$\$\$\$\$ 其大操作	28
空や床 F	20 28
フィンドの実行方法	20 20
	29 31
作网站助继能	32
「F 四 1冊 ゆ) 成 化	35
ヘノソノ、ソリント ナブジェクトスナップ	30 36
オ ノンエンドヘナック	30 20
極トフツキンク ナゴミュカトマナップトニッナング	39 40
	40
02 オフジェクトの作成	41
主な作成コマンド	42
線分[LINE]コマンド	42
円[CIRCLE]コマンド	44
円弧[ARC]コマンド	46
楕円[ELLIPSE]コマンド	48
ポリライン[PLINE]コマンド	50
長方形[RECTANG]コマンド	53
ポリゴン[POLYGON]コマンド	56
03 オブジェクトの選択	59
オブジェクトの選択方法	60
オブジェクト選択の基本	60
オブジェクトの選択表示	63
類似したオブジェクトを選択	64
Maruban Co. Ltd 2012	

	クイック選択[QSELECT]	64
04	オブジェクトの編集	.67
	グリップ編集	68
	グリップモードによる編集	68
	多機能グリップによる編集	68
	主な修正コマンド	70
	ー C P ー 削除IFRASFIコマンド	70
	13.13.1[] 移動IMOVE1コマンド	
	複写[COPY]コマンド	73
	は 5 [2001] コーンド オフセットIOFESETコマンド	76
	リッピット[01+02+]ニマンド	
	日本[(10))パビリコマンド 鏡像[MIRROR]コマンド	
	現像[MININON]コマンド	01 83
	イノム[ITCIN]コマンド 延阜[FYTEND]コマンド	88
		00
	うりし アイロートローフランド	03
		32
	八皮変更[SUALE]コマンド	90
	ストレリア [STRETON]コマント 記別指写[ADDAV]コマンド	00
	記列後→[ARRAT]コマント	100
	 ▼ [ルルバル印列後子] ▲ □□□□北田可佐定 	100
	▼	103
	◆ 八人能列復与	100
	▼ 日動調登能列後寺の禰朱 ポリニ ハ.の短集	109
	ホリフ1ノの 福夫	.113
05	画層とプロパティ	115
	画層	116
	画層プロパティ管理	.116
	画層のコントロール	121
	オブジェクトのプロパティ	126
	プロパティコントロール	126
06	文字	129
		120
		130
	又子記入[IEX1]コマント	130
		131
	マルナナキスト[MTEXT]コマント	132
	マルナナキストの編集	134
	文字入タイル官理	135
	文字スタイルの作成	135
	文字スタイルの切り替え	136
07	寸法	137
	寸法	138
		138
	す法編集	142
	す法スタイル管理	145
	コムハノコルロは	140
	1) 広へブ1 ルの1F成 ナはフタイル の切け抜う	140
	り 広へび1 ルの 切り 省え	103
	イルナリロ桜	154
	マルナ引出線の記人	154
	マルナ51 出禄の編集	155

// 第三者へのトレーニングやセミナー等実施のため、このドキュメントや関連データを無断で複写、配布、転載は禁止されています。

	マルチ引出線スタイル	157
	マルチ引出線スタイルの作成	157
	マルチ引出線の切り替え	160
~~		404
08	ハッナンク	161
	ハッチングの作成	162
	・ ・	162
	ハリノン [IRIGI]コマンド	160
	ハッナノソの補未	109
	ハッナンク 編集	169
09	レイアウト	
00		
	レイアウトの使用	172
	レイアウトの基本	172
	ページ設定	173
	ビューポートの作成	175
	ビューポートのコントロール	177
	ビューポート内のコントロール	178
10	_ 異尺度対応注釈	181
	用口由社内计组	100
	共八反刈心注机	102
		182
	異尺度対応オフシェクトの作成	183
	注釈尺度のコントロール	186
	レイアウトと注釈尺度	188
	レイアウトでの注釈尺度	188
11	= \. - \.	101
11		191
	図面テンプレート	192
	テンプレートとは	192
	ッティッティー この	192
12	印刷	201
	ra Bil	000
	티베	202
	フリンタの登録	202
	ページ設定	204
	印刷スタイルとは	207
	印刷スタイルテーブルの作成	208
	印刷方法	212
	ファイルへの出力	213
	バッチ印刷	215
40		047
13	フロック	
	ブロック定義	
	ブロック定義とは	218
	ブロックのプロパティ	210
	ノロックウォーク・フィー ブロック定差IRI OCK1	210 ງງ∩
	ノロノノに我[DLOON] ゴロックまキー M/DLOOK]	220
	ノロノノ盲と山し[WDLOUN] ゴロック任 1 [INICEDT]	222
	ノロツソ押入[INSEK1] ゴロ	223
	ノロツノ正我の修止	225
	周性	227
	属性定義	227
	属性定義の編集	231

01 基本機能

ユーザインターフェース

AutoCADの起動

AutoCAD は、次の2つの方法から起動します。

■ 方法1

デスクトップアイコンをダブルクリックして起動 Windows のデスクトップに配置された[AutoCAD2013]アイコンをダブルクリックします。

■ 方法 2

2

Windows のスタートメニューからプログラムを選択して起動 [スタート]-[すべてのプログラム]-[Autodesk]-[AutoCAD2013 – 日本語(Japanese)]-[AutoCAD2013 – 日本語(Japanese)]を選択して起動します。

ウエルカム センター

AutoCAD を起動すると[ウエルカムセンター]が表示されます。[操作]パネルでは、図面の新規作成や既存図 面を開くことができます。また、最近使用したファイルへのアクセスも可能です。[トピック]パネルには、新機能の ビデオチュートリアルやその他の学習リソースが提供されています。[関連トピック]パネルからは、Autodesk Exchange Apps や Autodesk360、Facebook や Twitter などの SNS ヘアクセスすることができます。





© Maruhan Co., Ltd 2012

AutoCAD 2013 - FI

第三者へのトレーニングやセミナー等実施のため、このドキュメントや関連データを無断で複写、配布、転載は禁止されています。

ユーザインターフェース AutoCAD を起動すると次のようなウィンドウが表示されます。主な画面構成と名称、役割は次の通りです。 3 1 4 2 |と注釈 ホーム 挿入 注訳 パラメトリック 表示 管理 ブラクイン /··· /< 🖒 回転 🔒 🔳 ByLayer BX ₽∕ R Α ß × 計測 計測 -ByLayer 👻 グループ 📑 0 文字 貼り付け 86 — ByLa… • 注釈 ▼ ブロック マ プロパティ 🔻 ゞ グループ ▼ ユーティリティ ▼ 作成 🔻 修正 ▼ 画届 -クリップボード [-][平面図][2D ワイヤフレーム] _ 0 % 캆 F 康 8) 南 WCS \bigtriangledown 7 9 10 (12)• X 🔧 34331323,1538 8224,00000 🖘 🗉 🎆 上 🍊 🗀 📿 🗹 ե 🕂 题 🗉 🏷 モデル 💵 🔜 🖈 🖬 🔺 💭 🕶 🗔

1 アプリケーションメニュー	ファイル操作や印刷など、多くの標準的な機能にメニュー形式でアクセスします。
2 クイックアクセスツールバー	頻繁に使用する標準的な機能にアイコンからアクセスします。
③ タイトルバー	開いている図面のファイル名などが表示されます。
④ 情報センター	キーワードを入力した情報の検索、Autodesk 360 へのサインインなどが行えます。
5 リボン	タブとパネルで構成され、関連付けされたツールが納められた小型のパレットです。
6 ビューポートコントロール	ビュー、ビューポート、表示スタイルの設定を作図領域でコントロールします。
7 クロスヘアカーソル	作図領域では、カーソルの外観は動作によって変化します。
8 View Cube ツール	現在の視線方向を示します。ツールをクリックすると視点方向が切り替わります。
9 ナビゲーションバー	頻繁に使用する画面操作のツールが配置されています。
10 UCS アイコン	現在の座標系を示します。
11 コマンドウィンドウ	操作の履歴や次の操作へのメッセージが表示されます。
12 ステータスバー	作図補助機能、表示コントロール、図面ステータスの機能が配置されています。

© Maruhan Co., Ltd 2012 第三者へのトレーニングやセミナー等実施のため、このドキュメントや関連データを無断で複写、配布、転載は禁止されています。

アプリケーションメニュー

ファイル操作や印刷などの一般的なツールにアクセスします。メニュー項目のコマンドを選択するとサブメューが表示され、的確な選択が可能になります。

そのほか、コマンドの検索やオプションなどの多くの機能をアプリケーションメニューより実行できます。



● [最近使用したドキュメント]・[開いているドキュメント]

[最近使用したドキュメント]ボタンを選択すると、右側の領域に最近開いた図面の一覧が表示されます。リスト を選択して手早くファイルを開くことができます。リストの順序や表示方法は変更することができます。また、ピン のマークをクリックしてドキュメントを固定し、リストに残していくことも可能です。

📐 🗅 🖻 🖥 📮	🔒 🦘 - 🖒 - 🔯製図と注釈	•	-		
<u>↓</u>	コマンドを検索	٩	7		
	🕒 最近使用したドキュメント		>		大きいアイコン
新規作成	IJスト順 ▼ 回▼			サイズ順	小さいイメージ
	뜸 Civil - Metric.dwg	-[=]	-	種類順	大きいイメージ
	Structural - Metric.dwg	-[=]			
上書き保存	Annotation - Metric.dwg	-[=]			
	🚰 Electrical - Metric.dwg	-[=]			
2月10日 名前を付け で保存 ・	Kechanical - Xref.dwg	-[=]			
	Nechanical - Text and Tables.dwg	-[=]			
- 古さ出し - ト					

[開いているドキュメント]ボタンを選択して、現在開いている図面の一覧を表示することができます。 順序を変更する機能とピンで固定の機能はありませんが、リストを選択することで図面の切り替えが行えます。

5

● [検索フィールド]

[検索フィールド]に検索するキーワードを入力すると、関連するコマンドのリストが表示されます。リストから目的のコマンドを選択し、実行することができます。



例)「文字」の検索結果

● [オプション]

アプリケーションメニューの最下部から[オプション]にアクセスできます。AutoCAD のさまざまな基本設定は、 [オプション]ダイアログボックスで行います。

オプション AutoCAD 2013 7	を終了
オブション	
現在のプロファイル: <<名前のないプロファイル>>	🦰 現在の図面: Drawing1.dwg
ファイル 表示 開く/保存 印刷とパブリッシュ システム 基本設	定 作図補助 3D モデリング 選択 プロファイル オンライン
~ ウィンドウの要素	表示解像度
配色パターン(M): 暗い色調 ▼	🦄 1000 円弧と円の滑らかさ(A)
□ 作図ウィンドウにスクロール バーを表示(S)	🐴 8 ポリライン カーブのセグメント(V)
図面ステータス バーを表示(D)	0.5 レンダリング オブジェクトの)滑らかさ(J)
ツールバーで大きなボタンを使用	
▼リボンのアイコンを標準サイズに設定	表示機能
▼ ツールテップを表示(1) ▼ ツールチップにショートカットキーを表示	■ ラスターまたは OLE 上で画面移動およびズーム(P)
☑ 拡張ツールチップを表示	I フラスター イメージのフレームのみをハイライト表示(R) I フランター イメージのフレームのみをハイライト表示(R) I コンター マンター マンター マンター マンター マンター マンター マンター マ
2 秒後に表示	○ Vリッド塗り消しを適用(Y) ○ 文字の増界フレームのみを表示(X)
☑ ロールオーバー ツールチップを表示	Uリッドとサーフェスの正確なシルエットを描画(W)
色(C) フォント(F)	クロスヘア カーソルのサイズ(Z)
レイアウトの更素	5
▼「アリーの要素」 ▼「レイアウト」タブと[モデル]タブを表示(L)	ר אר אריב א
☑ 印刷可能領域を表示(B)	外部参照の表示(E)
✓ 背景に用紙を表示(K)	
▼ 用紙の影を表示(E) ● 新規してついに対して[ページ]設定管理]をまテ(の)	1ノノレ1人編集と英尺度対応表現以 70

© Maruhan Co., Ltd 2012

第三者へのトレーニングやセミナー等実施のため、このドキュメントや関連データを無断で複写、配布、転載は禁止されています。

04 オブジェクトの編集

グリップ編集

コマンドを実行していない状態でオブジェクトを選択するとグリップが表示されます。このグリップを使用して編 集を行うことができます。



グリップモードによる編集

グリップを選択すると既定のグリッップモード([ストレッチ]モード)によって編集を行えます。また、[Enter]キーまたは[Space]キーを押して、他のグリップモードに切り替えることができます。[移動]、[回転]、[尺度変更]、[鏡像] のグリップモードを循環して選択できます。

選択したグリップで右クリックすると使用可能なグリップモードとオプションが表示されます。



多機能グリップによる編集

線分、ポリライン、円弧、楕円、スプライン、寸法、マルチ引出線には、多機能グリップが表示されます。グリップ にカーソルをあわせると、選択したオブジェクトに関連した編集機能がショートカットメニューに表示され、実行す ることができます。



68 © Maruhan Co., Ltd 2012 第三者へのトレーニングやセミナー等実施のため、このドキュメントや関連データを無断で複写、配布、転載は禁止されています。

NOTE

ダイナミック入力が ON の場合、グリップにカーソルをあわせると選択したオブジェクトの長さや角度、半径などの 寸法情報が表示されます。



NOTE

グリップの設定は、[オプション]で行います。

[選択]タブ-[グリップサイズ]等



主な修正コマンド

削除[ERASE]コマンド

削除[ERASE]コマンドを使用して、図面から選択したオブジェクトを削除します。

コマンドの選択

リボン:[ホーム]タブ-[修正]パネル-[削除]



● 基本操作

コマンドを実行

1. オブジェクトを選択:

削除するオブジェクトを選択



オブジェクトを選択:
 Enter でコマンド終了



NOTE

オブジェクトを選択し、[Delete]キーを実行して削除することもできます。

移動[MOVE]コマンド

移動[MOVE]コマンドは、基点と目的点を指定して選択したオブジェクトを移動します。正確に移動するには、座標入力やオブジェクトスナップを利用します。

コマンドの選択

リボン:[ホーム]タブ-[修正]パネル-[移動]

+∲+ 移動	💍 回転	-/ トリム •	<u>_</u>		
😚 複写	⊿ 鏡像	📶 フィレット	• B		
📮 ストレッチ	🗖 尺度変更	▋ 配列複写 ▼	4		
修正 ▼					

- 基本操作
 - オブジェクトスナップを使用して移動する場合

コマンドを実行

1. オブジェクトを選択: 移動するオブジェクトを選択

オブジェクトを選択:

- オブジェクトを選択:
 Enter で選択を終了
- 3. 基点を指定 または [移動距離(D)] <移動距離>: 基点にする円の中心をオブジェクトスナップで指定





4. 目的点を指定 または <基点を移動距離として使用>: 目的点になる長方形の角をオブジェクトスナップの端点で指定



5. コマンド終了

